



長野県立病院機構の令和4年度決算の状況がまとまりました

4年度は 4億2百万円の純利益となりました

1 延べ患者数の状況

	令和4年度	令和3年度	比較増減 (対前年度比)	増減の主な要因
入院患者数	208,391 人	221,303 人	▲ 12,912 (94.2%)	新型コロナ感染患者用病床確保による減少
外来患者数	402,397 人	398,435 人	+ 3,962 (101.0%)	新型コロナ感染患者急増による増加

2 新型コロナウイルス感染症(入院)への対応(機構全体)

感染患者受入人数 ※疑い患者を含む	延べ患者数 ※疑い患者を含む	主な対応等
557 人	5,057 人	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症医療の中核病院として常時入院患者に対応(信州) ・精神疾患を有する陽性患者の入院治療の実施(駒ヶ根) ・クラスターが発生した高齢者施設等への感染管理認定看護師の派遣(阿南) ・感染患者の急増に対して、発熱外来と電話診療で対応(木曾) ・集中治療病棟及び一般病棟で小児感染患者を受入(こども)
令和3年度 309 人	令和3年度 3,031 人	

3 令和4年度の主な取組

病院名	主な取組み
信州医療センター	指定研修医療機関として特定行為ができる看護師の養成を強化
こころの医療センター 駒ヶ根	インターネット・ゲーム依存症に係る入院・外来プログラムを開始
阿南病院	売木村診療所にいる患者を病院にいたる医師が診るオンライン診療を開始
木曾病院	認知症疾患医療センター(連携型)の指定を受け、認知症医療を充実
こども病院	新外来診察室を増設し、増加傾向の外来患者への診療体制を強化

4 損益の状況

- ・ 経常収益は、入院で前年度より患者数が減少しましたが、外来で前年度より患者数が増加したため前年度比8千4百万円増加し、260 億7百万円となりました。
- ・ 経常費用は、新型コロナ感染患者の増加による諸費用の増加や電気料金をはじめとする諸物価高騰による影響で、前年度比 3億9千5百万円増加し、255 億3千4百万円となりました。
- ・ 経常損益は4億7千3百万円の利益となり、臨時損益を含めた純損益は4億2百万円の純利益となりました。

(税抜、単位：百万円)

科 目	令和4年度	令和3年度	増減(R4-R3)
経常収益(ア)	26,007	25,923	84
医業収益	17,657	17,643	14
うち入院収益	12,120	12,236	▲116
うち外来収益	4,919	4,821	98
うち公衆衛生活動収益	483	453	30
その他経常収益	8,350	8,280	70
うち病床確保料	1,617	1,511	106
経常費用(イ)	25,534	25,140	395
医業費用	23,560	23,127	433
うち給与費	13,554	13,316	237
うち材料費	4,187	4,157	30
うち減価償却費	2,121	2,043	78
うち経費	3,627	3,557	71
その他経常費用	1,975	2,013	▲38
経常損益(ア-イ)	473	784	▲311
臨時損益(ウ)	▲71	▲72	1
当期純損益(ア-イ+ウ)	402	712	▲310

※端数処理により、内訳と合計が一致しない箇所があります。

